

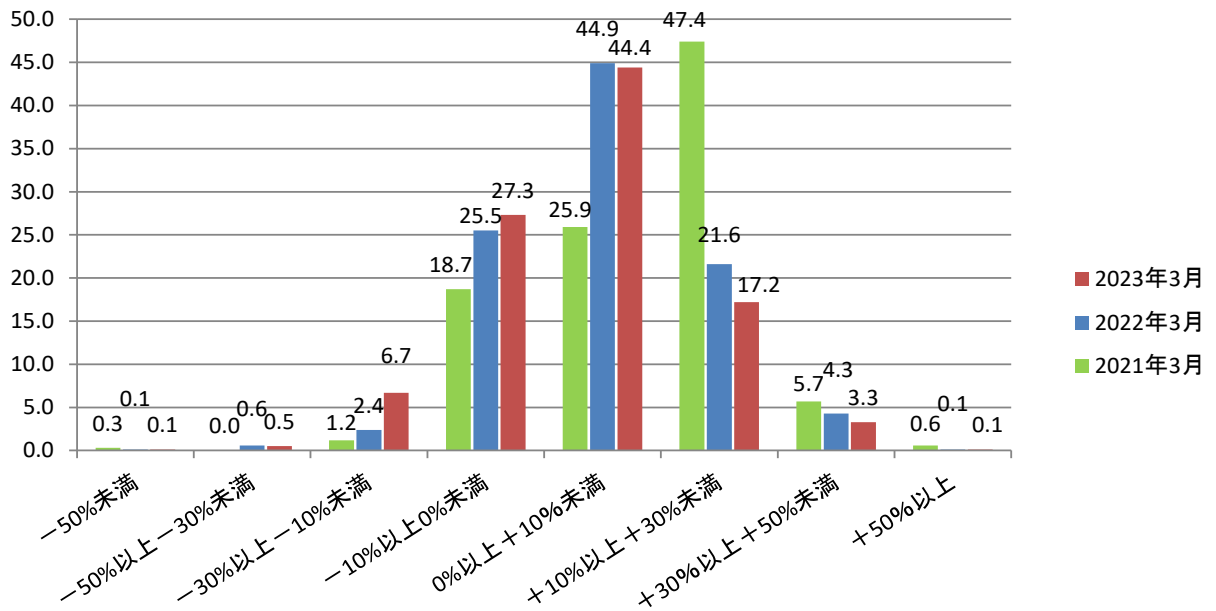
# 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」※につきまして、2021年3月、2022年3月及び2023年3月末時点の当金庫実績を以下のとおり公表致します。

※KPIとは、「Key Performance Indicator（重要業績評価指標）」の略であり、長期的にリスクや手数料等に見合ったリターンが、どの程度生じているか「見える化」したものです。

## 投資信託の運用損益別お客さま比率

損 ← | → 益



【運用損益の区分】	2021年3月		2022年3月		2023年3月		
	顧客数	構成比(%)	顧客数	構成比(%)	顧客数	構成比(%)	
プラス	+50%以上	2	0.6	1	0.1	1	0.1
	+30%以上+50%未満	19	5.7	25	4.3	23	3.3
	+10%以上+30%未満	157	47.4	124	21.6	120	17.2
	0%以上+10%未満	86	25.9	257	44.9	309	44.4
小計	264	79.6	407	71.1	453	65.1	
マイナス	-10%以上0%未満	62	18.7	146	25.5	190	27.3
	-30%以上-10%未満	4	1.2	14	2.4	47	6.7
	-50%以上-30%未満	0	0.0	4	0.6	4	0.5
	-50%未満	1	0.3	1	0.1	1	0.1
小計	67	20.2	165	28.8	242	34.8	
合計	331	100.0	572	100.0	695	100.0	

## 投資信託のお預かり残高上位銘柄

順位	銘柄名	コスト	リターン	リスク	残高 構成比	
1位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	13.09%	21.45%	25.59%	
2位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	6.60%	17.04%	14.10%	
3位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	4.97%	11.00%	10.78%	
4位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	3.17%	14.60%	10.51%	
5位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	3.74%	9.31%	7.29%	
6位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	-1.65%	3.12%	4.21%	
7位	グローバルAIファンド	2.59%	15.08%	27.13%	3.91%	
8位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	4.16%	15.39%	3.47%	
9位	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	1.54%	6.11%	17.12%	3.08%	
10位	トヨタ自動車ノトヨタグループ株式ファンド	1.09%	5.16%	20.73%	2.90%	
11位	新光US-REITオープン	2.23%	7.87%	18.22%	2.82%	
12位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	1.60%	4.75%	2.66%	
13位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	(中止)	2.09%	9.24%	22.56%	2.64%
14位	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	(中止)	2.64%	0.30%	21.90%	2.19%
15位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	2.31%	7.81%	2.07%	
16位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	3.52%	20.68%	1.34%	
17位	ニッセイノパトナム・インカムオープン	(中止)	2.20%	4.31%	5.72%	0.43%

※お預かり資産残高上位銘柄を対象(設定後5年以上)

※2023年3月末では、15銘柄(販売中止「(中止)表示」の3銘柄を除きます)を販売しています。

### ●投資信託のコストとは

投資信託を購入する際の「販売手数料」、運用期間中は信託財産から間接的に運用管理費用となる「信託報酬」が差し引かれます。これは運用管理に係る費用などをまかなうもので運用会社・販売会社・信託銀行の3者で配分されます。

さらに解約(換金)時に「信託財産留保額」がかかるファンドもあります。

これらのタイミングで発生する費用のことをコストといいます。

### ●投資信託のリターンとは

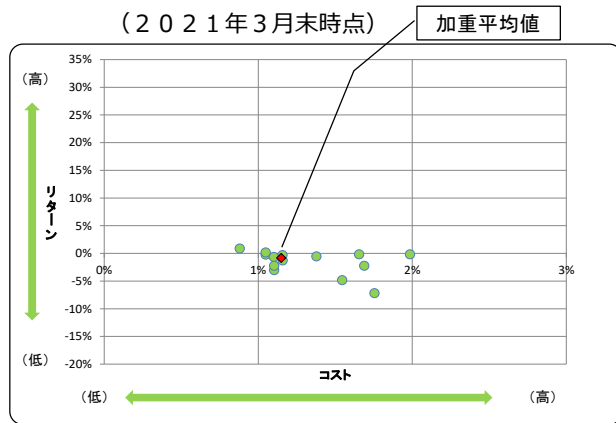
投資の結果得られる収益のことをリターンといいます。

### ●投資信託のリスクとは

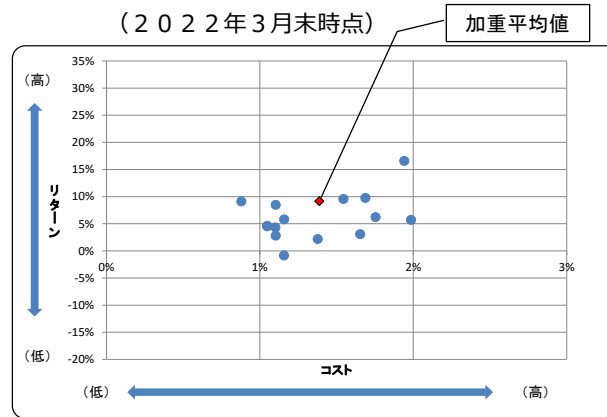
「リスク」=「危険」という訳ではありません。投資においては「結果が不確実であること」を意味します。具体的には、収益(リターン)のばらつきや揺れ幅のことを指します。基準価額の値動きの揺れ幅が大きいことを「リスクが大きい」、小さいことを「リスクが小さい」といいます。

## 投資信託のお預かり残高上位銘柄のコスト・リターン及びリスク・リターン

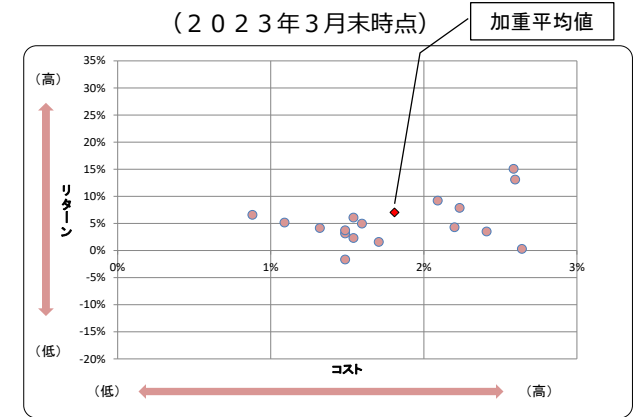
お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターン及びリスクとリターンの関係を示した指標を公表しています。2021年3月に落ち込んでいたマーケット環境が回復し、2022年3月は、リターン実績が上昇しました。2023年3月は、商品入れ替え等により、リスクおよびコストともに上昇したものの1商品を除きリターン実績を維持しました。



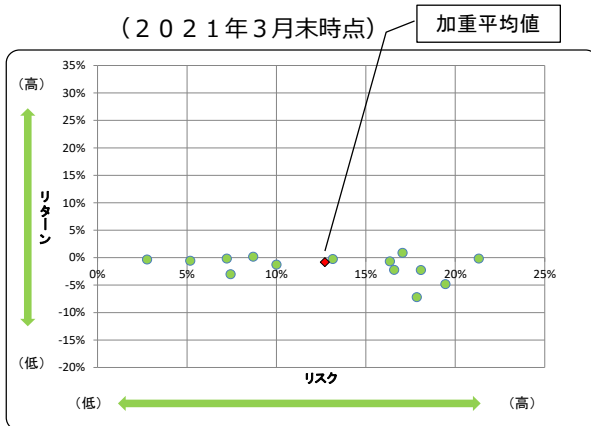
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.15%	▲0.82%



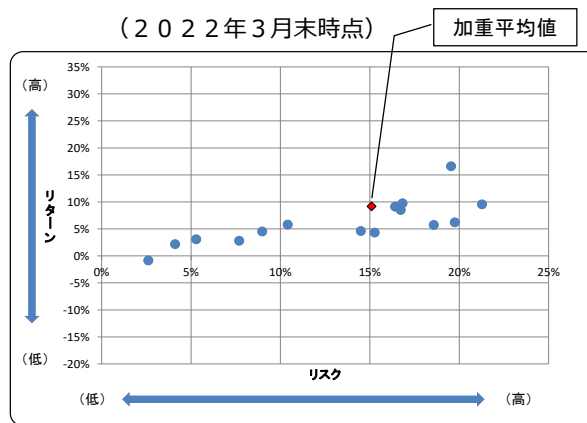
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.39%	9.16%



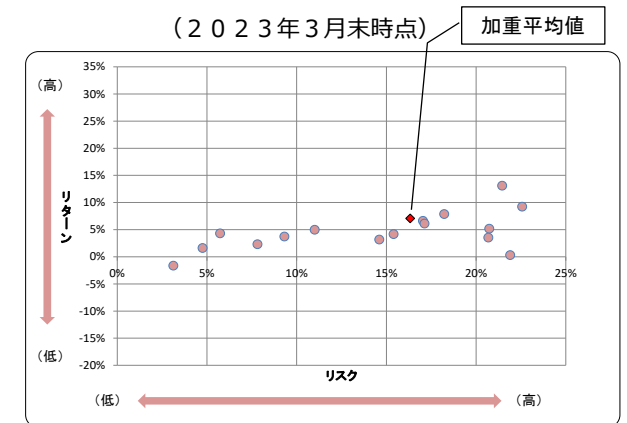
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.81%	7.05%



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.71%	▲0.82%



残高加重平均値	リスク	リターン
	15.10%	9.16%



残高加重平均値	リスク	リターン
	16.32%	7.05%

※ お預かり資産残高上位銘柄を対象（設定後5年以上）

※ なお、上記投資信託のリターンやリスクは、あくまでも過去の実績であり、将来を示唆したり保障するものではありません。

## 【比較可能な共通KPIとは】

顧客のニーズに応える「顧客本位の業務運営」で「どのような成果を上げているか」を示した指標のことをいいます。

この指標は、毎年3月末を基準にすべての顧客の運用状況を損益区分ごとにグラフ化した「運用損益別お客さま比率」、投資信託お預かり残高上位銘柄のコストとリターンを比較した分散図および同銘柄のリスクとリターンの分散図の3種類となります。

なお、投資信託お預かり残高上位銘柄につきましては、本来、上位20銘柄が比較対象、かつ、設定5年以上が対象のため、当金庫の品揃えに伴い、2023年3月は17銘柄、2022年3月は15銘柄、2021年3月は14銘柄を比較対象としています。

### ◆運用損益別お客さま比率

投資信託を保有しているお客さまにつきまして、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に比率を示した指標です。

この指標により個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降、どれ位のリターンが生じているか見ることができます。

### ◆投資信託お預かり残高上位銘柄のコスト・リターン及びリスク・リターン

設定5年以上の投資信託のお預かり残高上位銘柄につきまして、銘柄毎及びお預かり残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

これらの指標により、中長期的に金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

リスクとリターンは相関関係にあり、大きな収益を期待して高いリターンを狙えば、その分リスクも高くなり、大きな損失の可能性も増すこととなりますので、商品を選択する際はご注意ください。

ふれ愛 さわやか

## 「お客さま本位の業務運営」に関する成果指標（自主的なKPI）

### 投資信託商品ラインアップ

（2023年3月現在）

投資対象		商品数	構成比
株式	国内	4 商品	26.7%
	海外	3 商品	20.0%
債券	海外	2 商品	13.3%
不動産（REIT）	国内	1 商品	6.7%
	海外	2 商品	13.3%
バランス	海外	3 商品	20.0%
合 計		15 商品	100.0%

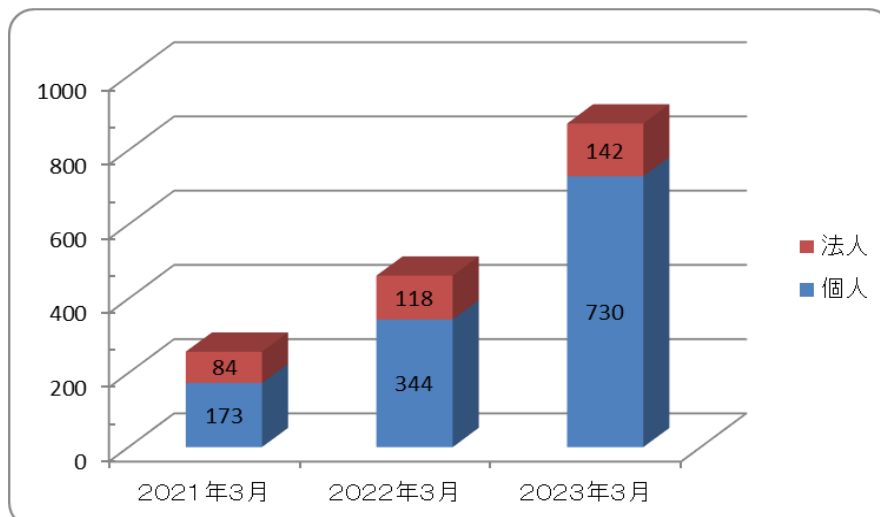
### 投資信託販売額上位5商品

（2022年4月～2023年3月）

順位	商品名	投資対象	
1	しんきんインデックスファンド225	国内	株式
2	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	海外	株式
3	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	海外	バランス
4	グローバルAIファンド	海外	株式
5	しんきんS&P500インデックスファンド	海外	株式

### 投資信託残高の推移

（単位:百万円）



## お客さまに提供する情報の充実と分かりやすい説明

- ・金融商品のご提案に際しては、お客さまの立場に立った情報提供と十分ご理解いただけるまで、分かりやすく説明することに努めます。
- ・各商品のリスクの所在やご負担いただく費用など重要な情報について、資料等を活用した丁寧な説明に努めます。
- ・商品の複雑さやリスクの大きさ、お客さま一人ひとりのご年齢や投資経験等に応じた、より分かりやすい説明に努めます。
- ・お客さまからのご相談やご質問に的確にお応えできるよう、態勢の整備に努めます。
- ・家計の安定的な資産形成の重要性について理解を深め、それに適う商品をご提案できる人材の育成に取り組みます。

◎当金庫は、お客さまのライフステージに配慮し、真に求められる最適な商品・サービスを提案できる職員の育成を目的として年複数回「スキルアップ研修会」を開催しています。地域ブロック毎にテーマを選定し、お客さまの資産形成に的確なアドバイスができるよう提案スキルの向上を図っています。

◎当金庫では、リスクが大きい外貨建の保険商品を取り扱いしておりません。

ふれ愛 さわやか

 留萌信用金庫